

令和6年度 上田市立 浦里小学校 学校関係者評価シート

| 学校教育目標                                                                 | めざす子どもの姿(中期的目標)                     | 総合評価                                                                                                                                                               |
|------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自分のよさを切り拓く子ども<br>①進んで勉強しよう ②思いやりのある人になろう<br>③丈夫な心と体をつくろう ④ふるさと(浦里)に学ぼう | 自ら気づき<br>自ら問いかけ(考え)<br>自らやってみる 子どもに | 学校教育目標を意識して取り組み、概ね達成できている。<br>授業に集中し、自ら手を挙げて意見を言う姿が見られた。<br>連学年の交流などにより、お互いを思いやる心が育っている。<br>お助け隊の協力もあり、ふるさと学習により浦里から多くのことを学んでいる。<br>お助け隊の活動をPTAにもっと伝えるかたちにしていくとよい。 |

| 分野   |        | 評価項目           | 評価の観点                                                                | 学校関係者評価 |   |   |   |                                                                                                                                                                                |  |  |  |
|------|--------|----------------|----------------------------------------------------------------------|---------|---|---|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|
|      |        |                |                                                                      | A       | B | C | D | 学校関係評価者による意見                                                                                                                                                                   |  |  |  |
| 重点目標 | ①      | 子どもの実態把握       | 子どもと関わる時間、授業の評価、各種アセスメント等をもとに、一人一人の興味関心、願い、支援の方向などについて、把握したか。        |         | ○ |   |   | 授業や行事を通し、児童一人一人と接し、子どもたちのやる気や自主性、その子の良さを引き出せるよう工夫して支援していると思われる。<br>少人数のメリットで、一人一人の児童に関わる時間が多く、子どもたちの興味関心を把握していると常々感じる。                                                         |  |  |  |
|      |        | 三観点を意識した授業     | 「子どもの言葉で疑問形の学習問題」「振り返りの位置づけ」などを行い、一時間の流れがわかる板書をしているか。                |         | ○ |   |   | 授業参観を通じ、未届けを意識した授業づくりが行われている。                                                                                                                                                  |  |  |  |
|      |        | 個別最適な学び        | 一人一人の学び方の個性を生かしたり、合理的な配慮に基づいたりした学習を保障しているか。                          |         | ○ |   |   | 少人数の良さを生かし、個々に寄り添った対応をしている。支援級の児童にも合理的配慮を行っている。                                                                                                                                |  |  |  |
|      | ②      | 異年齢の友だちとの活動    | 縦割り班、連学年授業、連学年担任制、こまゆみ教室、保育園との交流などを通して、相手を思いやる意識を高める場面が設定できたか。       | ○       |   |   |   | 少人数学校の良さを生かし、複数の学年との交流を多くもち活動している。こまゆみ教室などでも、相手を思いやる意識を高めていると思われる。                                                                                                             |  |  |  |
|      |        | コミュニケーション能力の育成 | ICT授業や連学年授業を充実させ、友だちと関わり、学び合う場面が位置付いた授業が行われていたか                      |         | ○ |   |   | ICTを利用し、自分で調べたことを発表することは、ICT活用が進むとともに、意見を伝え合う学びにもなりよい。                                                                                                                         |  |  |  |
|      | ③      | 体力づくり・遊びなどの日常化 | マラソン、体みがき、休み時間の遊びなどの場面で、子どもたちが自分から体を動かすよさを感じるようにはたらきかけたか。            |         | ○ |   |   | マラソン大会では楽しみながら走っていた。マラソンに積極的に取り組んでいる児童がいてよい動機づけになっている。休み時間には大きな声が響き渡り、体を動かしている様子が見える。体を動かす遊びで安全に過ごせるよう確認をお願いしたい。<br>保護者のアンケート結果より、体を動かす機会が学校内外で減少しているようで、体力が落ちているのではないかと心配がある。 |  |  |  |
|      |        | 健康増進への取り組み     | 歯科指導、栄養指導など、子どもたちが自身の健康に意識を向けるような学習を行ったか。                            |         | ○ |   |   | 医師、栄養士とも連携し、歯科指導や栄養指導が行われている。授業で教えていただいたことで、自分の健康に意識が向いたようだった。継続して指導することで、定着していけるように思う。                                                                                        |  |  |  |
|      | ④      | ふるさと学習の充実      | 地域の方と連携し、教科横断的なふるさと学習を実施できたか。                                        | ○       |   |   |   | お助け隊のご協力のもと、地域の歴史や自然、農作物の活動等、多くの体験学習を通じ学ぶことができています。                                                                                                                            |  |  |  |
|      |        | 探究的な総合的な学習の時間  | 生活科・総合的な学習の時間を、子どもたちの願いや気づきから組織し、探究的な学びを保障できたか。                      |         | ○ |   |   | クラス差が大きいと感じる。子どもたちの気づきを生活科や総合的な学習の時間につなげていると感じている。                                                                                                                             |  |  |  |
| 学校運営 | 地域との連携 | コミュニティ・スクール    | 授業や行事への参加を通して、学校運営に意見をいただき、その意見を教育活動の改善に生かしたか。                       | ○       |   |   |   | コロナ感染症が5類になって以降、地域の方々が学校へ参加する機会が増えている。コミュニティ委員会などを通じ、寄せられた意見のなかで、対応可能なことは実施している。様々な意見があるが、子どもたちにとってよい選択をしてもらえていてありがたい。                                                         |  |  |  |
|      |        | PTA活動          | コミュニティ・スクール実践目標のあいさつ・メディアとの関わりを重点に、学級懇談会で取り上げ、地域・家庭と連携して取り組むことができたか。 | ○       |   |   |   | 個々にあいさつやメディアとの関わりをしっかりと行おうと頑張っていた。メディアコントロールを実施し、多くの家庭で取り組んでいた様子が見られた。家庭の手伝いなどを行ったり、家族の会話が増えたりしていると思う。                                                                         |  |  |  |
|      | 研修     | 授業づくり研修        | 「(自ら)気づき 問いかけ(考え) やってみる」子どもを目指して、教科研究を行い、一人一人が授業改善を行ったか。             |         | ○ |   |   | 先生方は忙しい中、自己研鑽を積み、授業改善を行っている。意見を出し合える授業の雰囲気をつくってもらいたい。                                                                                                                          |  |  |  |
|      |        | 働き方改革          | 学校業務を効率化したりチームで取り組んだりして、超過勤務を4月と比べて縮減できたか。                           |         | ○ |   |   | 意識して実践されていると思うが、個人差があるのではないかと。来年度以降、通知票の2期制により、縮減が期待できそう。子どもたちのために、朝早くから夜遅くまで勤務してくださっている先生方には感謝です。縮減により子どもへの指導が希薄にならないか心配もある。                                                  |  |  |  |

○ 評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できなかった D・・・達成できなかった